

而して、本誌題號「婦人と子ども」の字は本會々長たる
高嶺女子高等師範學校長の揮毫になれるものなり

フレーベル氏の肖像につきて

「いざ、われ子どもと共に生を送らん、げに邦家の運命
は婦人の手に係る」。これ實にフレーベル氏の口より傳
へられたる千古の福音にして、如何に高尚微妙の思想
情意が、此隻句の中に潜めるかは、言はずして明なり
千七百八十二年より千八百五十二年に至る七十年間、
全く人世の名譽榮華を外にして、幼童の保育と婦人の
教育とに一身を捧げたる功績は、氏が幼稚園の鼻祖と
して、又女子教育の先驅者として、年を経るに従ひ氏
の名と共に益々光明を増す。今卷首に氏の肖像を掲げ
て、親しく其溫容に接する思をなし、又其事績を紹介
の考を興さんとす。



彙報

○婦人服裝の改良。我國婦人の服裝は、優美の點に
於て多少優る所ありといへども、實際上に於て種々の
決點あることは、一般識者の認むる所にして、過日弘
田博士は、婦人衛生會に於て改良案を演説せられたる
が、女子高等師範學校に於ても今回、更に委員を任命
し衣服改良につきて調査せしむることになしたりとい
ふ。尙改良衣服に付きて高木醫學博士は之れを一般の
社會に實行することは六ヶしければ、先づ官立學校の
女生徒だけにても實行せん希望にて、方今女子が幅廣
帯及び長袖を廢し、上衣は穿袖と爲し、袴を穿たしむ
るは衛生上、經濟上及び作業上共に至大の便利を興ふ
るものなりとの趣意にて、先き頃松田文相を訪ひ其意
見を開陳せりといふ

○大日本婦人衛生會 昨年十二月例會を麹町區永田町



なる華族女學校附屬幼稚園内に於て開きたり醫學博士
隈川宗雄君にはソマトーゼに就き先づ分析上牛乳牛肉
鶏卵等に比較を取り最後にソマトーゼは以上の滋養物
に比し劣るとあるも優ることなきを以て健康體の常用
すべきものにあらずと結論せられ次に醫學博士弘田長
君には女子衣服の改良に就き先づ古今體育の盛衰より
女子體育の不振は其衣服の不完全なる爲なりとて衣服
改良の急務を説かれ終に支那朝鮮及泰西婦人の衣服を
斟酌して調製せられたる博士新案の衣服を示して會員
の意見に問はれ午後四時頃散會せりといふ。

○感冒と小學兒童と題して同會雜誌は次の如く記載せり。
頃日流行性感冒大に流行して是れに冒さるゝもの頗
る多し而して小學兒童の是れに罹るもの最も多きかと
云ふに是れ全く校室の寒冷なるが爲めなり廣潤なる校
堂にして平常採光法及び空氣の流通上注意せるより冷
氣の侵入すること中々強烈なり然るに小學校内には之
を防ぐべき暖爐の裝置なく身體の發育未だ完全ならず

してかよはき兒童等は只さへ寒き校室内に椅子に依り
て足部を垂れ静肅を守り居れるより血液の運行自から
緩慢となり體溫の發生非常に沈靜せるより冷氣は一入
膚に透りて凌ぎ難くなりゆくなりかゝる有様にて課業
を受くる生徒は實に惘然なるものと云ふべし。

女生徒等の腔加答兒或は僕麻質斯等に罹れるもの著
しく増加せるは此等の關係より起れること多し。

「古」の寺子屋の如く疊の上に坐して居るものなれば寒
氣も左程にわらざるべきも板の間に椅子に倚りて長時
の課業を受くるものは實に甚しき寒冷を受くるもの
なり今の小學校には速に暖爐の用意を爲して校堂の冷
氣を防ぎ兒童の攝生に注意すると急務とすもし現状の
まゝに放置せば生徒は遂に悉く鼻涕となり畢りて完全
の教育を受くる能はざるに至らん學校衛生上重要な
事件なれば教育に従事する者は勿論世の父兄たるも
の、校堂溫暖法必要の輿論を喚起して此等兒童の苦寒
を救はれたきものなり。

○東京女醫學校 女醫鷺山彌生女史は今回東京麴町區飯田町四丁目九番地に、東京女醫學校なるものを設立せり。卒業年限四ヶ年、入學資格は年齢十七歳以上の女子にして、高等小學校卒業以上の學力を有するもの入學金二圓月謝金二圓なりと云ふ。

内外奇聞

▲十五年間、土中に棲みたる女子。伊太利ベニス近傍にてトグダと云へる一女子生れて三歳の時、兩親に委棄てられ土中に埋められしが十五年を経て、漸くこのころに至り、土中の物音をきゝつけたる人のために發掘せられしに、あはれにやせ衰へて人か虫かを見わけがたかりし程なるが、久しく日光を見ざりしことゝて其ほり起さるゝや目、忽見るとを得ず烈しく悲鳴したりといふ。今年は八歳になれども、下等動物よりも尙ほ愚なる有様なりと▲角の生へたる畸形兒。作州勝加村の人神田甚太郎の妻昨年十月五日一子を産む。四肢

と胴とは人間の如くなるも、頭部に二本の角あり、耳は畜生に似て長く顔は鍋蓋の如く平たくして目鼻口ともに一所にあり。▲主人の屍體を守りたる義犬。岐阜縣田瀬村の安江徳となん呼べる人昨年十二月八日、一頭の飼犬を連れ、降り積める雪かき割けて遊獵にと山へ上りて、遂に雪中に凍へ死す。四日を経て十一日に至りて同村の人、道を開かんとて登り行く中はからず悲しげに吠ゆる犬の聲を聞きつけ其場に至りしに兼て見知りたる安江は凍死し居り犬は屍體により添ひ居たりと云ふ▲世界中人口最多の場所。米國ニューヨーク市第十街と第十一街との間幅二百呎長六百呎の廣の地面に六千八百八十八人の人民住居する由にて。即全世界中人口の最稠密なる場所なりといふ。▲九十八歳の新婦。米國諸新聞の報ずる所によればニューヨークの老新婦なりと誇り居れるよしなるが實際は前に二回結婚したることありと云ふ

新刊紹介

●菅丞相 多稼散人撰 金昌堂發行

教育童話の第三編として出でたるもの、附録として丑のはなしを添へたり。梅村謹一と云ふ學校生徒が、物知りの叔父さん所へ行つて菅公の話の聞くと云ふ短合に組み立て、叔父、甥の親しき問答中に公の一生を記載し盡したり。繪もよく、文も面白く子供の讀本としては至極結構なるべし。定價八錢

●古今集序 岡田起作筆 同所發行

女子高等師範學校教員岡田起作氏が女子の習字帖として新に上梓せられたるもの、假名手本として女學生座右の好伴侶なるべし。

●女學世界 第一號 博文館發行

本月五日を以て新に出でたる女學雜誌なり。卷首は例に依りて、數葉の寫真版、賑はしく西村茂樹翁の女子の三大育を初とし、其他、ありとあらゆる項目を網羅

し盡して残す所なく、紙數總べて二百八頁に及べる尤大の一雜誌なり定價二十錢。

●兒童研究 第七號 教育研究所發行

高島氏の兒童と社會は例に依りて面白く讀まれ、其他適用に雜誌に有益の記事頗る豊富なるは嬉し、學校幼稚園は言ふまでもなく、子を有てる家庭に於ても是非讀まれたき雜誌なり。

●新文藝 第一號 新文藝社發行

二十世紀の新舞臺、眼前に開展せるに、國民文藝の趣味の頗る昂らざるものあるを慨し、茲に幾多の文士相謀りて將來の文壇に貢獻せんとして本世紀の第一日を以て新に生れ出でたるもの吾人は斯道の爲め大に健全なる發達を遂げられんことを祈る。

○保姆練習科。女子高等師範學校保姆練習科は、本月より、開始せられたり、今同科の規則を得たれば左に掲載す。

女子高等師範學校保姆練習科規則

第一條 女子高等師範學校保母練習科ハ保母養成ノ研究ニ資センガ爲

保母タルヘキ者ヲ教育スルヲ以テ目的トス

第二條 保母練習科ノ學科目ハ修身教育理科圖畫音樂トス

第三條 保母練習科ノ修業年限ハ一箇年トシ之ヲ三期ニ分ツ

第四條 保母練習科ノ生徒タルヘキ者ハ修業年限四箇年ノ高等女學校

ヲ卒業若シクハ之ト同等以上ノ教育ヲ受ケタル者ニシテ年齡滿十七

年以上三十年未滿ノ者トス

第五條 生徒ノ定員ハ凡二十名トス

第六條 休業日ハ左ノ如シ

日 曜 日

神武天皇祭……………四月三日

皇后陛下御誕辰……………五月二十八日

夏期休業……………七月二十一日ヨリ九月十日ニ至ル

秋季皇靈祭……………秋分日

神嘗祭……………十月十七日

天長節……………十一月三日

新嘗祭……………十一月二十三日

冬期休業……………十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル

孝明天皇祭……………一月三十日

紀元節……………二月十一日

春季皇靈祭……………春分日

春期休業……………四月一日ヨリ同十日ニ至ル

第七條 學科課程ハ左ノ如シ

第一期

修身 人倫道德ノ要領……………每週二時

教育 總論 各論 保育法……………每週十三時

理科 庶物……………每週二時

圖畫 自在畫……………每週三時

音樂 單音唱歌、樂器用法……………每週四時

第二期

修身 前期ノ續……………每週一時

教育 各論、保育法、實地保育……………每週十七時

理科 前期ノ續……………每週二時

圖畫 前期ノ續……………每週二時

音樂 前期ノ續……………每週四時

第三期

修身 前期ノ續……………每週一時

教育 保育法、實地保育……………每週二十三時

音樂 樂器用法……………每週一時

第八條 入學志願者ニハ左式ノ願書及ビ履歷書ヲ差出サシム

入學願書

私儀幼稚園保母志望ニ付御校保母練習科ニ入學御許可
被成下度此段相願候也

住所族籍

年月日 本人 何 某 印

女子高等師範學校長何某殿

前書ノ趣相違無之候也

年月日

住所族籍
職業
右父母
後見人等 何

某印

履歷書

住所族籍

生所

某 生年月日

一卒業證書許免許狀

何年何月何日、官、道廳、府、縣、市、町、村、私立何學校ニ於テ何學科卒業證書ヲ受ク(證書寫チ)

何年何月何日何所ニ於テ何免許狀ヲ受ク(免許狀寫チ添フベシ)

一學業

フベシ)

何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何所何某ニ就キ何學科ヲ修業ス(書名及ビ程度ヲ記スベシ)

何年何月何日官、道廳、府、縣、市、町、村私立何學校ニ入り何學科ヲ修業シ何年何月何日卒業或ハ何々ニ付中途退學シ或ハ現ニ何箇年ノ課程ヲ卒ル(書名及ビ程度ヲ記スベシ)

一業

何年何月何日北海道訓導ヲ拜命シ何處何市、區

何學校ニ在勤シ何年何月何日依願免官或ハ現ニ在

勤等

一賞罰

何年何月何日何所ニ於テ何々ニ付何賞ヲ受ケ或ハ何罰ヲ受ケ等

第九條

入學ヲ許可スベキ者ハ試験ノ上之ヲ定ム

第十條

但シ特ニ試験ヲ須ヒス認定ニ依ルコトアルヘシ
入學ノ許可ヲ得タル者ニハ左式ノ入學證書ヲ差出サシム

印紙

入學證書

私儀今般御校保姆練習科ニ入學御許可相成候ニ付テハ御規則ヲ守リ御指揮ヲ奉シ一尙勉學可仕候也

所

族籍

年月日

何 某印

前書ノ趣相違無之ニ付拙者證人ニ相立本人ニ關スル一切ノ事件引受可申候也

但向後拙者住所移轉等致シ候節ハ速ニ可届出又旅行致候節ハ代理ヲ立届出可申候

住所族籍職業(本人トノ關係)

年月日

保證人 何 某印

女子高等師範學校長何某殿

前書保證人何某ハ當郡内ニ在住シ丁年以上ニシテ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年月日 何區長 何 某印

第十一條 保證人ハ東京府内ニ住居シ丁年以上ノ男子ニシテ一家計ヲ

立テ生徒ノ身分ニ關シ一切ノ事件ヲ引受クルニ足ルヘキ者ニ限ル

第十二條 修業年限ノ終ニ於テハ其成績ヲ考査シテ卒業ヲ判定ス

第十三條 成規ノ課程ヲ修了シ卒業ノ判定ヲ得タル者ニハ左式ノ卒業

證書ヲ授與ス

卒業證書

北海道廳 華族

何 縣 府 士 族 平民

校印

何 某 幾女 姉妹 等

何 某

生年月日

右ハ當校保姆練習科ヲ卒業セリ因テ茲ニ之ヲ證書

年月日

女子高等師範學校長位勳學位辭何某

番號

第十四條 生徒缺席スルトキハ其旨保證人ヨリ届出テシム

第十五條 生徒退學セントスルトキハ理由ヲ具シテ其旨保證人ヨリ願

出ツヘシ

○保姆傳習所、東京府教育會に於ては新に保姆傳習所を設け生徒數凡五十名を募集し本年二月より授業を開始することを決せりといふ

○京阪神三市聯合保育大會。同會第七回大會は京都市當番にて、昨年十一月十日。上京區、竹間尋常小學校に於て開會せり、先づ京都市保育會幹事關口秀範氏議長席に着き、議事に移り。第一、「遊戯室の廣さ、幼兒一人に對して幾何の割合を以て適當とするか」と云へる問題に對しては、三市會員の意見、略大同小異にして結局「實際上一團となりて遊戯すべき兒童數に對しては、一坪につき二人以内を以て適當すること」に決し、第二、「保育時數は如何に定むるを以て適當とするか」に付いては、甲論乙駁、遂に食時の間を除きて、最長三時間半を以て適當とし終始業時間及夏期休業前後の保育時間短縮は、暑中は、尋常小學校より前後とも三十分づゝを縮め、最長の幼兒にありては三時間とし最幼者にありては、二時間とすることに多數を以て可

決せり。夫より三市交換遊戯に移りて休憩せり。時に。

十二時二十分。

午後一時より演説に移り、本莊視學官は「フレーベル」の幼稚園を起したる目的と今日實際に行ふ所と符合せざるものあれば、此邊の研究の必要なることを説き、次には、幼稚園の要素たる遊嬉は小兒の將來、活動すべき地歩を興ふるものなりと斷し、觀察力を過度に養ふの結果、心神の發達を害するの例ありとて之を誠め、保姆は幼兒の中心點となりて能く、其個性を發達せしめ善良なる道徳の方面に向はしむべしと云ふに至りて局を結び、來會者に非常の感動を興へたり。

松浦同志社女學校長は冒頭に、幼稚園を尋常小學校に併置するの最、不可なるを切論し、幼稚園には必ず、植物園を設けて、四時の花卉草木を植へ一の樂園たらしむべきこと、親切なる保姆によりて、多くとも、一組十五人幼兒を受け持たしむべきことを説き、統計を擧げて、年々一人の保姆の擔任する兒數の増すを歎き

保姆を慰めて未來の紳士淑女は園兒の中にありと云ひ人道のために奮勵せられんことを望み、大に聽者を感動せしめたり。

第四、「外遊の際幼兒に貸與する玩具」につきは各市に於て調査をなして、次回に報告することに決し、第五「聯合會に於て恩物の圖形を蒐集し一のブックを造る可否」は各市調査の結果を市の幹事にて取纏めて一のブックとするに決し、第七、「粘土細工をバラフ*ンに改良するの可否は、其利害得失を次回までに、十分調査の上可否を決すること、せり。

右終りて京都市幹事閉會の辭につぎて、大村會長の答辭あり四時散會せり。

當日は、來會者非常に多く、未曾有の盛會にして同市各幼稚園よりは金品の寄贈ありたり。

海外彙報

○公立庚子京城幼稚園。在韓國公立京城高等尋常小學

校長、早川清範氏は、昨年五月我皇太子殿下の御慶事記念として、同所に標題の幼稚園創設の計畫に盡力せられ遂に昨年十月廿七日を以て開園式を舉行せられたり。幼兒は目下四十名を收容し、園長には、三増領事令夫人友子氏之に當られ、氏は主幹として庶務を整理し、保母は、大阪より聘し外に助手二人を附して、日々保育に従事せられ居ると云ふ。尙、仁川、釜山の兩市とも來年四月を以て開園すべしとのことなり。

○アメリカ、イリノイズ州母の會。本會は、主として、ローヂャー、マック、ミューレン夫人の盡力に依りて、成立せしものにして、昨年五月廿八、廿九、三十の三日に渡れる大會を開きて、其發會式を擧げたり。當時會合せしもの、父母教師等を始とし、尙も兒童教養に

關係ある者、無慮數千人、會上、數多の有益なる演説談話等ありたる中、フ・ラルデフ・*ア母の會の會長、シヨッフ夫人は、母の會の目的として、左の數條を擧げたり。

一、家庭的生活を尙一層、高尚の度に、進むること
一、幼兒の教養注意に關して、無識なる人々に、其父母たる義務を、完全に盡し得ることを學ぶべき機會を與ふること。

一、父母及學校教師が、兒童教育に十分、協力し得る様、學校と家庭との關係を尙、一層、親密ならしむること。

一、將來、無頼漢たらずして、よく善良なる國民となり得る様、十分適切なる注意を以て、全州兒童を愛護すること。

一、此目的を達せんがため、各所の公立學校に母親俱樂部を設け、幼稚園を建設し、更に一方に於ては、彼等等閑に附せられたる兒童に向つて、適切

に注意せる諸法規を制定すること。

一、最良の結果を改めんには、どこまでも男女の協力を必要とするが故に、家庭を一層神聖純潔にする事業に、男女とも協力して従事する様感知せしむること。

一、弱年の児童を、普通の法庭に於て裁判せしめずして、各都府には、少年裁判所を設け、又、児童の罪過を證明するにわらずして、寧ろ、罪過より救出せんが爲の注意を以て、巡視する特殊の官吏を置くこと、法律を制定すること。

一、児童の吟味は、法庭に回すよりも寧ろ、各個人の家庭にてなすこと。

一、一汎社會をして、之等無辜にして併も等閑に附せられたる児童の爲に盡すべき義務と責任との感を興起せしむること。蓋し之に依りて又、吾人の監獄費を減じ、其他、犯罪懲誡等の設備費を減じ、依つて以て、一汎租税を軽減せしむるを得る

なり。

本會の事業は、最、高尚なる意義に於て、國家的事業なり。何人にも、本會の輒旨を賛成せらるゝ、男女諸君は、會員となりて尙、一層高尚なる國家的生活の爲め共同助力せられんことを希望す。蓋し此の如き國家的生活は、獨り、各個人の家庭の純良より、來るべきものなり。

○スイエンフューゴスの幼稚園 亞米利加キューバ島は、長く西班牙の屬領たりしが、本國の抑壓重歛に耐へずとて、島民舉て、本國に服せず、騷擾連年 現今北米合衆國の、屬邦となるに至りたれども、其騷亂のため、島民の疲弊一方ならず、従つて子女の家を喪ひて、流離するもの少なからざるに至りぬ、

茲に同島の醫者、何某なるもの、可憐なる子女の悲惨なる、境遇 默視するに忍びず、自ら率先して、スイエンフューゴス町に、孤兒院を創立し、慈善家の寄附金により、此等の子女を救濟しけるが、竟に米國ニユ

ヨーク市なるキューバ島孤兒院救濟會長ギル嬢の、盡力を受け、追々規模を擴張せる程に、ギル嬢は、幼稚園を設け、孤兒の幼者を、保育するの必要を認め、本年一月、トラシイ嬢を擇みて、保姆となし、キューバ島に遣はし、幼稚園を設立せしめたり、スイエンフェーゴスの幼稚園なるもの、即ち是なり、今左にアール、ダブルユー、ハインス氏が、キンデルガルテン雑誌に投寄したる記文の中、普通幼稚園にありふれたる事をば抄畧し、此幼稚園事業の困難とする特殊の件のみを轉譯すべし、

北米合衆國婦人が、言語風俗は勿論、開化の程度を異にする、此幼稚園兒に接することなれば、幾多の困難は、固より有り得べき事ならん、就中、保姆たるトラシイ嬢が、自國の語を捨て、凡て西班牙語に依りて保育せざる可らざる如きは、蓋し一方ならざる厄介の事なるべし、言語の差異より來る、此大困事を初めとして、難事少なからざるものあり、

一、彼等には聊かも家族的生活の觀念なき事是れなり、何となれば彼等は嘗て家族の暖みと云ふ、經驗を有せざればなり、依りてトラシイ嬢は禽獸類の家族生活の有様を述べて、人類の家族生活に及ぼし、該觀念を興ふるに苦心したる結果、現今頗る了解したらんが如しといふ、

二、從來不規律の生活をなしたる彼等は、絶て抑制の心なく非常に放縱勝手なること又靜肅及び從順の徳を養はれたることなき彼等は、喧噪、不秩序にして管理上著しき困難を見ること是なり、

三、感謝報恩の徳義を有せざること、トラシイ嬢曰く右等徳義を吹き入れんためには頗る困難を嘗めたる也も現今多少成効の傾向ありと、

四、動物に對し甚だ殘忍なること、是れキューバ島人一般の遺傳なれば動物を見るに慈悲仁惠の心を以てすと云ふが如き恐らく彼等の怪訝にたへずとする處なるべし、

五、思想の暗黒なること、是なり、剪紙の課業等に於て園兒のなす處に放任するときは忽ちにして其暗黒なる思想を拈出するを見ん、或時園兒十字形を案出したれば何物ぞやと尋ねしに墓標なりと答へしといふ、如何にも彼等の境遇の暗黒を反射したるものに相違なし斯る暗黒陰鬱なる園兒を慰撫して開放、和樂の品性を形成せんとするトランシ嬢の辛苦察するに餘ありと云ふべし、

併し嬢の苦心の効追々現はれ來たり、次第に快活に移り行くが如く、唱歌を好むに至りし如き確かに其傾向を察するに足るなり、

然れども疲せ衰へたる、如何にも家庭の暖みを覺えざらん彼等が、人世の不幸と云ふ不幸に生れ合はせし彼等は甚だ淋しき笑を、其青白き頬に滿へて、唱歌するどきの、いぢらしき有様を見ては、誰か、彼等の爲めに同情の涙を惜まざらんや、

六、開化の程度低き事是なり、是れ一朝にして教ふ

べき事にあらねば致し方なしとは雖も、何事にも此事の連絡し來るを以て厄介少なからず例へば粘土細工をなさしむれば、やがて原人時代の遺物とも見らるゝ土器を作り出すが如し、

七、黄色を惡むことは是れなり、彼等が西班牙を嫌惡するは祖先以來の遺傳なり、西班牙を惡むと、もに其國旗及び商船旗の色なる黄色は亦遺傳的に惡む處なり、而して園兒の黄色を惡むこと甚しく恩物の球を示すときだに黄球をば一人として手に觸るゝものなし故に保姆は何事にも黄色を避くるを常とす、もし誤りて黄球或は黄紙等を彼等に與へんとするも一人も之をうけず、強て之を與ふれば怒號して之を床上に抛ち甚しきは、ヒステリーの如く齒を食ひしばり身を震はして怒ることすらあり、併し黄色は獨り西國人の專有物にあらず黄花あり黄鳥あり太陽も黄色なり虹にも黄條あること等を述べしに彼等は追々悟るところあるに至りたりといふ、

以上は困難事と思はるゝ二三を條述したるものなるが、園兒の取扱上、其他困難少なからざるものあるるべし、さるにても、言語風俗開化を異にせる、子女を保育し、彼等をして、相當の生活をなさしめんとて、此無告可憐なる不幸兒等のために、幾多の辛酸を嘗めつゝある、トラシイ嬢の、篤志感するに餘りありと云ふべし、

謹告

本誌第一號記事非常に幅濶し、爲めに幾多重要な記事を割愛せざるべからざるに至れるは深く讀者に謝する所なり、第二號以下に於ては益記事を精撰して以て讀者の期望に沿はんことを期す。

會報

フレーベル會規則

第一條 本會は幼兒保育の改良發達を圖るを以て目的とす

第二條 本會はフレーベル會と稱し東京に置く

第三條 會員たらんとするものは幼稚園に關係あるもの又は幼兒保育に篤志なるものにして會員の紹介を経べし

第四條 會員は本會の經費として一ヶ月金拾錢を賺出すべし

第五條 令聞名望ある人にして本會の事業に裨益ありと認むるものは特に請ひて客員となすことあるべし

第六條 本會の目的を達せんが爲に左の事業を行ふ

一 總會 毎年四月廿一日之を開き保育に關する